国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成27年2月12日

# 平成２６年第９回定例記者会見のお知らせ

日時：平成２７年２月１８日（水）１１：００～１２：００
場所：豊橋技術科学大学　福利施設内　ひばりラウンジ（※開催場所が通常と異なります。）

＜記者会見項目予定＞

① 受賞者発表！！
グローバル対応学生宿舎のアイデア募集
表彰式を執り行います。（別紙１参照）

② 豊橋技術科学大学シンポジウム『未来を創造する革新技術』
～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～　開催（別紙２参照）

③ EIIRIS プロジェクト研究成果報告会
第３回次世代シークエンス技術応用研究会　開催
ー遺伝子解析技術と工学技術の融合による新たな価値の創造ー　（別紙３参照）

④ 「女性研究者研究活動支援事業」【連携型】
理系女性研究者の活躍促進シンポジウム　開催（別紙４参照）

⑤ 食の６次産業化で農業と地域の活性化を！！
「食 Pro. アワード 2015 大賞」受賞
三枝正彦特任教授と先端農業・バイオリサーチセンターに授与（別紙５参照）

⑥ 第１回「可視化ものづくり」シンポジウム
～接合プロセスを例として～　開催（別紙６参照）

⑦ 社会人キャリアアップ連携協議会　設立記念シンポジウム
「ひとを育み、まちを創る
“産金学官”４本の矢による東三河の成長戦略」　開催　（別紙７参照）

⑧ 未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム
低炭素社会における産業育成および
安全・安心なビークルシティ　開催（別紙８参照）

⑧ 次回の定例記者会見の開催日程について　（別紙９参照）

多くの方々のご出席をお待ちしております。

＜本件連絡先＞
総務課広報係　萩平・高柳・梅藤
TEL：0532-44-6506　FAX：0532-44-6509

＜別紙１＞

国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

# 受賞者発表！！
# グローバル対応学生宿舎のアイデア募集
# 表彰式を執り行います

スーパーグローバル大学に選定されたことにより「グローバル技術科学アーキテクト」養成キャンパスの創成のための取組の１つとして留学生と日本人学生が混住するシェアハウス型の学生宿舎建設を計画しています。そこで本学では平成 26 年 12 月、本学主催にて学生、教職員に向けてアイデア募集をしました。①学生宿舎名称部門８件、②学生宿舎平面等計画部門 18 件の応募があり、選考結果の末、①学生宿舎名称部門②学生宿舎平面等計画部門において受賞が決定いたします。

受賞者の表彰式、プレゼンテーションを本記者会見にて行います。

**＜審査概要＞**

**審査基準**

① 学生宿舎名称部門

・スーパーグローバル大学創成支援事業「グローバル技術科学アーキテクト」養成キャンパスの創成にふさわしい名称であること。

② 学生宿舎平面等計画部門

・設計条件を踏まえ、留学生と日本人が活発な交流を行え、周辺の宿舎環境に調和したデザインであること。実施設計や維持管理に配慮したデザインであること。

**表彰**

①、②とも受賞者の表彰

審査員

・大西隆学長、大貝彰理事・副学長、寺嶋一彦副学長、中澤祥二学長補佐、髙嶋孝明教授、垣野義典准教授、髙橋正実（本学顧問デザイナー）

本件に関する問い合わせ先
担当者　施設課計画推進係　深谷　TEL:0532-44-6533
広報担当：総務課広報係　　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

＜別紙２＞

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年　２月１２日

## 豊橋技術科学大学シンポジウム『未来を創造する革新技術』<br>～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～　開催

豊橋技術科学大学は、センシングデバイスを核にしたエレクトロニクス先端技術と材料技術を、医療・農業・ロボット・情報通信・都市計画などの突出した異分野の先端知と融合させ、社会を変革させるに足る先駆的・革新的なテーマ研究を進めることにより、未来を創造する革新技術と新たな価値の創造とその社会実装に全力で取り組んでいます。

日　　時 ： 平成２７年３月９日（月）１３時３０分～１８時００分
会　　場 ： ホテルアークリッシュ豊橋　（豊橋市駅前大通１－５５）
参 加 費 ： 無料　（情報交換会費 5,000 円）
主　　催 ： 国立大学法人豊橋技術科学大学
後　　援 ： 株式会社豊橋ｷｬﾝﾊﾟｽｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ（とよはし TLO）、日本経済新聞社名古屋支社（予定）

プログラム

**13:30　開会**
主催者挨拶　豊橋技術科学大学長　大西　隆
来賓挨拶　文部科学省研究振興局学術研究助成課　企画室長　前澤綾子　氏
事業紹介　豊橋技術科学大学　副学長（研究担当）石田　誠

**14:10　基調講演**
「住友電工の未来価値創造への飽くなき挑戦～化合物半導体、超電導、蓄電池、そしてダイヤモンドまで～」
住友電気工業株式会社　研究統括本部技師長　林　秀樹　氏
（NEDO 技術戦略研究ｾﾝﾀｰﾌｪﾛｰ）

**14:50　基調講演**
「青色ＬＥＤ開発の歴史」
豊田合成株式会社　顧問（元青色 LED 事業担当常務取締役）太田　光一　氏

**15:40　コーヒーブレーク・ポスター展示**

**16:10　研究紹介**
「石炭、石油、水素に替わる第４世代ビークル革命」
豊橋技術科学大学　未来ビークルシティリサーチセンター　教授　大平　孝

**16:25　研究紹介**
「ナノ集積化技術がもたらす新たな材料開発戦略」
豊橋技術科学大学　電気・電子情報工学系　准教授　武藤浩行

**16:40　研究紹介**
「人間共生ロボット実現のための先進情報処理技術」
豊橋技術科学大学　情報・知能工学系　教授　三浦　純

**17:00　パネルディスカッション**
テーマ：『未来を創造する革新技術』～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～
ﾓﾃﾞﾚｰﾀｰ　学長　大西　隆
ﾊﾟﾈﾘｽﾄ　文部科学省　前澤綾子　氏
基調講演者　林　秀樹　氏、太田光一　氏
研究報告者　大平　孝
研究推進ｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ　副センター長／特定教授　原　邦彦

**18:00　閉会**

**18:10　情報交換会**

本件に関する連絡先
担当者　研究支援課　小林　英史　TEL:0532-44-1561
広報担当：総務課広報係　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

# 研究大学強化促進事業
# 豊橋技術科学大学 シンポジウム
# 『未来を創造する革新技術』

## ～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～

豊橋技術科学大学は、センシングデバイスを核にしたエレクトロニクス先端技術と材料技術を、
医療・農業・ロボット・情報通信・都市計画などの突出した異分野の先端知と融合させ、
社会を変革させるに足る先駆的・革新的なテーマ研究を進めることにより、
未来を創造する革新技術と新たな価値の創造とその社会実装に全力で取り組んでいます。

## 平成27年3月9日(月) 13:30～18:00
## 会場：ホテルアークリッシュ豊橋

豊橋市駅前大通1-55 TEL 0532-51-1111

| 参加費 | 定員 | 情報交換会会費 |
|---|---|---|
| 無料 | 150名 | 5,000円 |

主催：国立大学法人豊橋技術科学大学
後援：株式会社豊橋キャンパスイノベーション(とよはしTLO)
日本経済新聞社名古屋支社(予定)

### プログラム

- 13:30 開 会
  - 主催者挨拶…豊橋技術科学大学長 大西 隆
  - 来賓挨拶……文部科学省研究振興局学術研究助成課 企画室長 前澤綾子氏
  - 事業紹介……豊橋技術科学大学 副学長(研究担当)石田 誠
- 14:10 基調講演
  - 「住友電工の未来価値創造への飽くなき挑戦
    ～化合物半導体、超電導、蓄電池、そしてダイヤモンドまで～」
  - 住友電気工業株式会社 研究統括本部技師長 林 秀樹氏
  - (NEDO技術戦略研究センターフェロー)
- 14:50 基調講演
  - 「青色LED開発の歴史」
  - 豊田合成株式会社 顧問(元青色LED事業担当常務取締役)太田光一氏
- 15:40 コーヒーブレーク・ポスター展示
- 16:10 研究紹介
  - 「石炭、石油、水素に替わる第4世代ビークル革命」
  - 豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター 教授 大平 孝
- 16:25 研究紹介
  - 「ナノ集積化技術がもたらす新たな材料開発戦略」
  - 豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 准教授 武藤浩行
- 16:40 研究紹介
  - 「人間共生ロボット実現のための先進情報処理技術」
  - 豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授 三浦 純
- 17:00 パネルディスカッション
  - テーマ:『未来を創造する革新技術』～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～
  - モデレーター…学長 大西 隆
  - パネリスト……文部科学省 前澤綾子氏
    - 基調講演者 林 秀樹氏、太田光一氏
    - 研究報告者 大平 孝
    - 研究推進アドミニストレーションセンター 副センター長/特定教授 原 邦彦
- 18:00 閉会
- 18:10 情報交換会

国立大学法人
豊橋技術科学大学

研究大学強化促進事業

# 豊橋技術科学大学 シンポジウム

# 『未来を創造する革新技術』

～価値創造への挑戦／社会実装に向けて～

**平成27年3月9日(月) 13:30～18:00**

**会場：ホテルアークリッシュ豊橋** 豊橋市駅前大通1-55 TEL 0532-51-1111

主催：国立大学法人豊橋技術科学大学
後援：株式会社豊橋キャンパスイノベーション(とよはしTLO)
日本経済新聞社名古屋支社(予定)

| 参加費 | 定員 | 情報交換会会費 |
|---|---|---|
| 無料 | 150名 | 5,000円 |

## ■お申し込み方法 以下のいずれかの方法によりお申し込みください。

①Web：ホームページhttp://www.tut.ac.jp/の
シンポジウム http://www.tut.ac.jp/150309tut_symposium/からお申し込みください。
②Eメール：メールアドレスoffice@rac.tut.ac.jpへ氏名・勤務先・所属・職名・住所・電話番号・
情報交換会の参加／不参加をお送りください。
③FAX：下記参加申込書にご記入のうえ，FAX：0532-81-5172へお送りください。

## ■お申し込み期限

平成26年3月3日(火)必着(定員に達し次第締切となります。)
※当日参加も可能ですが，事前のお申し込みにご協力をお願いします。
(当日参加の場合は，受付にて名刺をご提出ください。)

## ■参加申込書 下記必要事項をご記入のうえ，FAXにてお申し込みください。

2015年　　月　　日

| | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | | | |
| 氏　名 | | | |
| 勤務先 | | | |
| 所　属 | | 職　名 | |
| 住　所 | 〒 | | |
| 電話番号 | (　　)　　－ | Eメール | |
| 情報交換会 | 参加　／　不参加 | | |


国立大学法人
豊橋技術科学大学

お申し込み・お問い合わせ先 ■ 豊橋技術科学大学研究推進アドミニストレーションセンター(シンポジウム担当)
ホームページ http://www.rac.tut.ac.jp/　Eメール office@rac.tut.ac.jp
TEL 0532-44-1561　FAX 0532-81-5172

＜別紙３＞

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

## EIIRIS プロジェクト研究成果報告会
## 第３回次世代シークエンス技術応用研究会　開催

### ー遺伝子解析技術と工学技術の融合による新たな価値の創造ー

豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所（EIIRIS）では、国内の大学や研究機関などに普及しつつある次世代シークエンサーの利用と民間企業を含めた幅広い団体への普及、および遺伝子関連産業や地域産業の活性化を促すために、「次世代シークエンス技術応用研究会」を立ち上げ、一昨年、昨年と２回の研究会を開催し、多くの方々にご参加いただきました。様々な最新情報を交換することができ、その中から共同研究の芽になるものも生まれ、新たな産業の創出が期待できる活動になりつつあります。

この度、『遺伝子解析技術と工学技術の融合による新たな価値の創造』と題し、第３回の研究会を開催します。

**【日程・会場】**

| | | |
|---|---|---|
| 開催日 | ： | 平成２７年３月１０日（火） |
| 講演会会場 | ： | 豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所 プロジェクト研究交流室<br>(http://www.eiiris.tut.ac.jp) |
| 施設見学会 | ： | エレクトロニクス先端融合研究所/ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー<br>（講演会場に集合） |
| 情報交換会/懇親会会場 | ： | 豊橋技術科学大学 喫茶室 |

**【参加費】**

| | | |
|---|---|---|
| 成果報告会/研究会 | ： | 無料 |
| 情報交換会/懇親会 | ： | 2,000 円 |

※プログラム等の詳細はチラシをご覧ください。

本件に関する連絡先
担当：エレクトロニクス先端融合研究所　橋詰・小林　TEL:0532-81-5133
広報担当：総務課広報係　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

EIIRISプロジェクト研究成果報告

# 第3回次世代シークエンス技術応用研究会

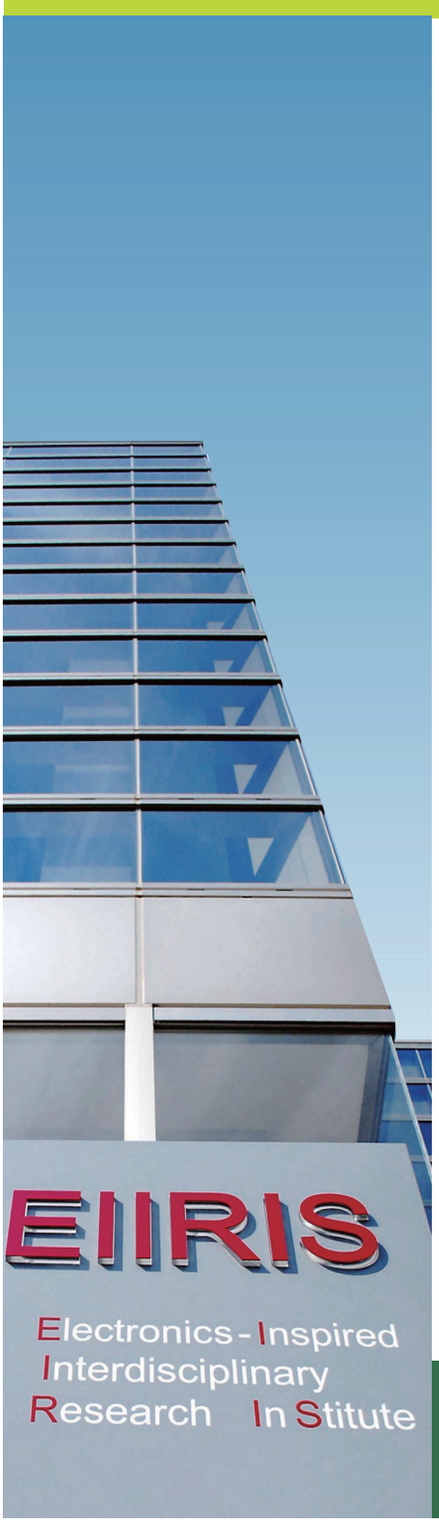
EIIRIS
Electronics-Inspired Interdisciplinary Research Institute

日 時：2015 年 3 月 10 日 (火) 13:30 - 17:20

会 場：豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所（EIIRIS）
ベンチャービジネスラボラトリー 3F 大会議室

参加費：無料（ 情報交換会 2,000円 ）

主　催：国立大学法人　豊橋技術科学大学エレクトロニクス先端融合研究所
共　催：㈱豊橋サイエンス・クリエイト、㈱豊橋キャンパス・イノベーション




## プログラム

12:30～13:20　LSI工場および次世代シークエンサー設備の見学（希望者のみ）

13:00～13:30　受付

13:30～13:35　開会挨拶
豊橋技術科学大学　副学長／エレクトロニクス先端融合研究所所長／電気・電子情報工学系
教授 石田 誠

13:35～14:20　招待講演 I
『1分子DNA解析技術「Quantum Sequencing」による破壊的イノベーションの実現』
クオンタムバイオシステムズ株式会社　代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）　本蔵 俊彦

14:20～14:40　研究成果報告①『ディアフォリン活性評価とキジラミ各種系統の共生細菌叢解析』
豊橋技術科学大学　エレクトロニクス先端融合研究所　准教授　中鉢 淳

14:40～15:00　研究成果報告②『次世代シークエンサーを用いたシアノバクテリアのゲノム解析』
豊橋技術科学大学環境・生命工学系／エレクトロニクス先端融合研究所　助教　広瀬 侑

15:00～15:20　研究成果報告③『海藻由来の天然高分子に親和性を持つ人工RNA』
豊橋技術科学大学　環境・生命工学系　講師　梅影 創

15:20～15:40　研究成果報告④『半導体MEMS－LSI技術を用いた生体分子計測技術』
豊橋技術科学大学　電気・電子情報工学系　テニュアトラック講師　高橋 一浩

15:40～16:00　休憩

16:00～16:30　特別セミナー『生命科学研究を切り拓く半導体シーケンス技術』
サーモフィッシャーサイエンティフィック　ライフテクノロジーズジャパン株式会社
フィールドアプリケーションスペシャリスト　近藤 真人

16:30～17:15　招待講演 II『日本人ゲノム解析ツール「ジャポニカアレイ」』
株式会社 東芝　研究開発センター　橋本 幸二

17:15～17:20　閉会挨拶

17:30～19:00　情報交換・懇親会（豊橋技術科学大学喫茶室）

【申込み方法】
豊橋技術科学大学 EIIRIS ホームページ（http://www.eiiris.tut.ac.jp）に掲載されている参加申込書の記入要領に従って、E-mail（gene-tec@eiiris.tut.ac.jp）または Fax(0532-44-6979) でお申込みください。定員（80 名）になり次第，申込み受付は締め切らせていただきます。

国立大学法人 豊橋技術科学大学

# EIIRIS プロジェクト研究成果報告会
# 第３回次世代シークエンス技術応用研究会

－遺伝子解析技術と工学技術の融合による新たな価値の創造－

開　催　日：平成 27 年 3 月 10 日（火）
講演会会場：豊橋技術科学大学 エレクトロニクス先端融合研究所　プロジェクト研究交流室
（http://www.eiiris.tut.ac.jp）
情報交換会／懇親会会場：豊橋技術科学大学　喫茶室
【参加費】
成果報告会／研究会：無料
情報交換会／懇親会：2,000 円

## 【参加申込書】

下記のとおり参加を申込みます。

送信先 E-mail：gene-tec@eiiris.tut.ac.jp

全て必須項目です。

| | |
|---|---|
| 1．申込日 | 年　月　日 |
| 2．氏名（フリガナ） | （　　） |
| 3．所属・団体<br>（フリガナ） | （　　） |
| 4．部署 | |
| 5．勤務先住所 | 〒 |
| 6．電話番号（半角数字） | |
| 7．電子メール（半角英数字） | |
| 8．施設見学会 | □参加　or　□不参加 |
| 9．情報交換会（注１） | □参加（要 2,000 円）　or　□不参加 |

（注 1）：領収書を発行致します。

【申込み】
本参加申込書、または豊橋技術科学大学 EIIRIS ホームページ（http://www.eiiris.tut.ac.jp）に掲載されている参加申込書の記入要領に従って、E-mail（gene-tec@eiiris.tut.ac.jp）または Fax(0532-81-5133)でお申込みください。定員（80 名）になり次第，申込み受付は締め切らせていただきます。

◆【お願い】「情報交換会／懇親会」に参加予定の皆様へ
・「やむをえず参加できなくなった場合」は，3 月 3 日(火)までに必ずご連絡ください。お手数ですが，よろしくお願い致します。なお，**ご連絡が無い場合は，情報交換会／懇親会参加費（2,000 円）を申し受けます。ご了承ください。**

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

「女性研究者研究活動支援事業」【連携型】

## 理系女性研究者の活躍促進シンポジウム

**2015 年 3 月 10 日（火）14:00～17:30**
**場所：豊橋技術科学大学　Ａ棟**
**主催：豊橋技術科学大学、名古屋大学、名古屋市立大学**

＜取組概要＞

このシンポジウムでは、理系女性活躍促進にフォーカスを絞り、プログラムの１部では「女性活躍の現状と課題」と題して基調講演者の矢島洋子氏から、最新の取り組みや課題をご紹介いただき、２部では、ものづくり愛知における女性研究者の活躍を促進するためのパネルディスカッションを開催します。３部のシーズ・ニーズマッチングフォーラムでは、連携する３大学の女性研究者が一堂に会し、44件の研究成果発表及び企業、研究者間の交流を行う、今年度連携行事の中でも最大イベントです。

＜取組連携体制＞

ひまわりはコンソーシアムのロゴマーク

豊橋技術科学大学(共同実施機関)と、愛知の女性研究者支援を牽引してきた名古屋大学(代表機関)、名古屋市立大学(共同実施機関)、さらに連携企業、名古屋市、愛知県の協力を得て、**「AICHI 女性研究者支援コンソーシアム」**を構築します。

＜シンポジウム内容＞

どうしたら女性研究者が輝いて働き続けられるのか？どのように社会で活躍促進できるのか？この機会に皆様と考えたいと思います。

■会場　　：豊橋技術科学大学１部・２部（Ａ－１０１）、３部（Ａ棟学生ホール）
■第１部　　：講演会　　１４：００～１５：００
■第２部　　：パネルディスカッション　　１５：０５～１６：００
■第３部　　：シーズ・ニーズマッチングフォーラム　１６：１５～１７：３０
※プログラム等の詳細はチラシをご覧ください。

本件に関する連絡先
担当者　男女共同参画推進室　植松　TEL:0532-44-6502
広報担当：総務課広報係　　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

平成26年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業

「女性研究者研究活動支援事業」【連携型】

あいちから日本へ、世界へ！

AICHI
女性研究者支援
コンソーシアム※

# 理系女性研究者の活躍促進シンポジウム

## 男女共同参画推進と女性研究者活躍促進のために

**2015年 3月10日 火** 14:00～17:30

託児あり 無料 要事前申込

参加費 無料

**場所** 豊橋技術科学大学
1部・2部：A−101
3部：A棟学生ホール（A−101となり）

※ひまわりはコンソーシアムのロゴマークです。

女性研究者研究活動支援事業（連携型）は、女性研究者の研究力向上および上位職への積極登用に向けた取組を目的として、3大学の連携で行います（2014年11月～2017年3月）。

このシンポジウムでは、理系女性活躍促進にフォーカスを絞り、各機関の最新の取り組みを紹介するとともに、ものづくり愛知における女性研究者の活躍を促進するためのパネルディスカッションを開催します。シーズ・ニーズマッチングフォーラムでは、3大学の女性研究者が一堂に会し、研究成果発表及び企業、研究者間の交流を行います。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## プログラム

### ■ 1部　講演会

| | | | |
|---|---|---|---|
| 開会挨拶 | 豊橋技術科学大学理事・副学長 | 大貝　彰 | 14:00～14:10 |
| 基調講演 | **「女性活躍の現状と課題」** | | 14:10～15:00 |
| | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社<br>経済・社会政策部　主任研究員<br>女性活躍推進・ダイバーシティマネジメント戦略室室長 | 矢島洋子 氏 | |

### ■ 2部　パネルディスカッション　15:05～16:00

**「ものづくり愛知における理系女性研究者の活躍促進」**

| | | |
|---|---|---|
| ・パネリスト | 豊橋技術科学大学学長 | 大西　隆 |
| | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 主任研究員 | 矢島洋子 氏 |
| | 名古屋大学 男女共同参画室長(総長補佐) | 束村博子 |
| | 名古屋市立大学男女共同参画推進センター長 (理事副学長) | 井上泰夫 |
| | 株式会社デンソー生産技術研究部部品生産革新プロ室<br>加工CAE推進課課長 | 加藤千景 氏 |
| ・コーディネーター | 豊橋技術科学大学　男女共同参画推進室長 | 中野裕美 |

### ■ 3部　シーズ・ニーズマッチングフォーラム　16:15～17:30

・女性研究者によるポスター成果発表
・企業との交流会

主催：豊橋技術科学大学・名古屋大学・名古屋市立大学

# 豊橋技術科学大学　理系女性研究者の活躍促進シンポジウム

## お申し込み用紙

豊橋技術科学大学
男女共同参画推進室

**FAX 0532-44-6509**

必要事項をご記入のうえご送信ください。**申込締切:2月28日**　なお、会場に余裕があれば当日参加も受付ますが、できるだけ事前にお申し込みください。

| お名前 | 勤務先・役職 | 1部・2部 講演会 パネルディスカッション | 3部 シーズ・ニーズマッチングフォーラム |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | (どちらかを○で囲んでください。) | (どちらかを○で囲んでください。) |
| TEL・FAX | E-mail | 参加・不参加 | 参加・不参加 |

| お名前 | 勤務先・役職 | 1部・2部 講演会 パネルディスカッション | 3部 シーズ・ニーズマッチングフォーラム |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | (どちらかを○で囲んでください。) | (どちらかを○で囲んでください。) |
| TEL・FAX | E-mail | 参加・不参加 | 参加・不参加 |

| お名前 | 勤務先・役職 | 1部・2部 講演会 パネルディスカッション | 3部 シーズ・ニーズマッチングフォーラム |
|---|---|---|---|
| ふりがな | | (どちらかを○で囲んでください。) | (どちらかを○で囲んでください。) |
| TEL・FAX | E-mail | 参加・不参加 | 参加・不参加 |

| 託児申込 | 人数 | 内訳（年齢・性別） |
|---|---|---|
| | 人 | |

**■E-mailでのお申し込み**　上記にご記入のうえ **danjo-kyodo@office.tut.ac.jp** まで

### ■お申し込みについて

・電話によるお申し込みは受付しておりません。FAXまたはE-mailにてお願いいたします。
・お申し込みいただいた方に対し、本学より受理の通知はいたしませんので、当日直接会場にお越しください。
・定員(350名)を超えた場合は通知いたします。

〈個人情報の取扱いについて〉
ご記入いただいた情報は、シンポジウムの運営以外の目的には利用しません。
お知らせいただいた情報を適切に管理し、お申込者様の承諾なく第三者に提供又は利用することはありません。

**日時**　**2015年3月10日(火) 14:00〜17:30**

**場所**　**豊橋技術科学大学**　1部・2部:A−101、3部:A棟学生ホール

◆バスをご利用の方へ
豊橋駅前(東口)2番乗り場から豊鉄バス豊橋技科大線
『技科大前行き』又は『りすぱ豊橋行』又は『福祉村行き』に乗車
『技科大前』で下車　所要時間25分

◆自家用車をご利用の方へ
東名高速　音羽蒲郡 I.C. 又は豊川 I.C. から約1時間

◆鉄道をご利用の方へ
東海道新幹線　名古屋駅から豊橋駅まで、約30分
名古屋鉄道　名鉄名古屋駅から豊橋駅まで、名鉄特急で約50分
中部国際空港から豊橋駅まで特急で約90分
(神宮前駅で乗換)
東海道本線　名古屋駅から豊橋駅まで、新快速で約50分

豊橋技術科学大学男女共同参画推進室　http://www.equal.tut.ac.jp/index.html

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

**食の６次産業化で農業と地域の活性化を！！**
**「食 Pro. アワード 2015 大賞」受賞**
**三枝正彦特任教授と先端農業・バイオリサーチセンターに授与**

内閣府は、職業能力の実践的な評価・認定制度として、「食の６次産業化プロデューサー」、「介護人材」、「カーボンマネージャー」の３つについて、キャリア段位制度を実施しています。

「食の６次産業化プロデューサー」は、農林水産業（１次産業）と加工（２次産業）、流通・販売・サービス（３次産業）との一体化や連携（６次産業化）をすることによって、農業の振興や地域の活性化を推進する人材です。

このキャリア段位制度では、レベル１－７まで設定されていますが、現在のところ個人としてはレベル４（プロフェッショナル）が最高位で、人材育成機関としてはレベル３の認証が最高位です。

豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンターでは，「食の６次産業化プロデューサー」レベル３の人材育成機関として、平成 24 年度から、「６次産業化推進人材育成」を実施しており、これまで修了生、受講生を合わせて、105 名が学んでいます。修了生は、「食の６次産業化プロデューサー」の申請をし、現在、本大学修了生からレベル３に９名、レベル２に４名が認定されています。また、本事業の統括責任者である三枝正彦特任教授は、大学教員としては全国で初めて、ただ１人、レベル４（プロフェッショナル）を取得しています。加えて、本事業関係者からはレベル４が、現在３名誕生しております。

このように多くの６次産業化推進人材育成を行い、また全国で最も多くの「食の６次産業化プロデューサー」認定者を誕生させた業績により、この度、国家戦略・プロフェッショナル検定制度「食 Pro. アワード 2015 大賞」が、三枝正彦特任教授と先端農業・バイオリサーチセンターに授与されました。

また、本大学では「６次産業化推進人材育成」の他に、「IT 食農先導士」や「最先端植物工場マネージャー」の育成を行っています。これらプログラムの修了生と受講生からなる「IT 農業ネットワーク（総勢 349 人）」が結成され、毎年修了生を主体とする「IT 農業シンポジウムとアグリフェア」を開催しております。本年は第５回で、「植物工場と６次産業化で農業と地域の活性化」をメインテーマにシンポジウムを行い、また、アグリフェアとして、修了生や受講生が作った農産物や農産加工品の展示を行います。皆様方のご来場をお待ちしております。

※プログラムの詳細はチラシをご覧下さい。

受賞理由：

豊橋技術科学大学 先端・農業バイオリサーチセンターは平成 24 年から農林水産省などの委託を受けて、６次産業化推進人材育成を３年間、平成 25 年からは食 Pro. 育成プログラム認証（レベル１、２、３）を受け、２年間の実施実績があり、多くの修了生を輩出しています。 また、プログラム運営を牽引している三枝正彦特任教授は自らレベル４を取得するなど、食 Pro. 人材育成への多大な功績により、表彰されました。

# 1 「実践キャリア・アップ戦略」「キャリア段位制度」とは？

## ■実践キャリア・アップ戦略の意義

- 実践キャリア・アップ戦略は、新成長戦略における「21の国家プロジェクト」のひとつです。実践的な職業能力の評価・認定制度（キャリア段位制度）によって、成長分野における人材育成を進めることにより、労働移動を促すものです。
- これまでのような「肩書き社会」ではなく、「キャリア」・「能力」がより評価される社会の実現をめざした制度です。

## ■キャリア段位制度の全体像

- ①介護プロフェッショナル、②カーボンマネジャー、③食の６次産業化プロデューサーを選定し、実践的な職業能力に重点を置き、「わかる（知識）」と「できる（実践的スキル）」の両面を評価し、７段階のレベルの認定を行うこととしています。
- 24年度に実施機関の公募を行った上で、24年秋からレベル認定を開始し、全国に普及させていきます。

プロレベル

- LEVEL 7 | その分野を代表するトップ・プロフェッショナルの段階
- LEVEL 6 |
- LEVEL 5 | プロのスキルに加えて、特定の専門分野・領域における更に高度な専門性を持つ、あるいは、その人の独自の方法が領域等から認知・評価されている段階
- LEVEL 4 | 一人前の仕事ができることに加え、チーム内でリーダーシップを発揮することができる段階
- LEVEL 3 | 指示・助けがなくとも、一人前の仕事ができる段階
- LEVEL 2 | 一定の指示・ちょっとに、ある程度の仕事ができる段階
- LEVEL 1 | エントリーレベル 職業準備教育を受けた段階

ここがポイント！

- 平成24年秋より「介護」、「カーボンマネジャー」、「食の６次産業化」を対象としたレベル認定制度がスタート
- 「肩書き」ではなく、「キャリア」や「能力」が評価される社会の実現へ

食 Pro. アワード 2015 大賞受賞風景（左）(http://www.6ji-biz.org/index.html より引用)

# 食 Pro. アワード 2015 大賞

国立大学法人豊橋技術科学大学
しんきん食農技術科学講座

特任教授　三　枝　正　彦　殿
先端農業・バイオリサーチセンター　殿

貴殿は国家戦略・プロフェッショナル検定
食の６次産業化プロデューサー（食 Pro.）
制度において、多大な貢献をされました。
よってその功績に深く感謝し、ここに表彰
いたします。

平成 27 年 1 月 22 日

一般社団法人　食農共創プロデューサーズ
代表理事　長谷川　潤一

# 第5回
# IT農業シンポジウムとアグリフェア

11:00－13:00　オープンセレモニーとアグリフェア
15:00－16:00

13:00－15:00　IT農業シンポジウム 「植物工場と6次産業化による地域の活性化」

**基調講演**

「地域活性化における植物工場と6次産業化の連携」
三枝正彦（先端農業・バイオリサーチセンター特任教授）

**事例報告**

「IT農業に夢をかける」
清水勝哉（IT食農先導士第2期生）

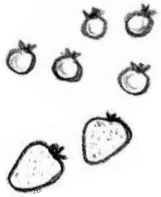
「地域と共に生きる西郷牧場の新たな取り組み」
西郷和久（植物工場マネージャー第1期生）

「主婦目線からの6次産業化と地域化」
榎本佐和子（6次産業化人材第3期生）

「有機農産物を中心とした障がい者雇用とフードビジネスの展開」
加藤政実（6次産業化人材第1期生）

技術を究め、技術を創る
国立大学法人
豊橋技術科学大学

主　催　ＩＴ農業ネットワーク
共　催　先端農業・バイオリサーチセンター
連絡先　0532-44-6659（IT農業ｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ事務局）
E-mail：6jisangyo@recab.tut.ac.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.recab.tut.ac.jp/



**日時**　2015年3月1日（日）
**会場**　豊橋技術科学大学
シンポジウム：A-201
アグリフェア：A-201～203

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

## 第１回「可視化ものづくり」シンポジウム
## ～接合プロセスを例として～　開催

豊橋技術科学大学（福本昌宏機械工学系長）は、３月１６日（月）に、第１回「可視化ものづくり」シンポジウム ～接合プロセスを例として～ を開催します。

**日時　：　平成２７年３月１６日(月)　１２：４５～１７：４０**
**会場　：　ホテルアソシア豊橋　５階ボールルーム　http://www.associa.com/tyh/**
**参加費　：　無料（定員１００ 名）**
**主催　：　豊橋技術科学大学（機械工学系、人間・ロボット共生リサーチセンター、次世代シミュレーション技術者教育推進室）**

**※プログラム等の詳細はチラシをご覧ください。**

科学技術創造立国を標榜する我が国の、とりわけ自動車や航空機産業を筆頭とする各種産業群が集積する愛知県、中部圏において，近未来に向けて確実に進行する労働人口の減少に配慮しつつ、新興諸国の追随を許すことなく、これまでに培った「ものづくり」技術を発展させ、さらなる差別化を堅持するには、従来に無い革新的なものづくりの概念が必要と考えます。この難問に応えるために本シンポジウムでは、従来，個別に取り組まれてきた「可視化：科学」及び「ものづくり：技術」を科学技術として成立させる「可視化ものづくり」概念の必然性，有効性について各界有識者を交えながら検証します。また、当該概念の具現化に向けて、必須要素技術間および産官学の連携を基とする「可視化ものづくり拠点」構築を提案します。

【本件に関する連絡先】
担当：機械工学系界面・表面創製研究室　福本・加藤　TEL:0532-44-6692
広報担当：総務課広報係　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

# 第１回「可視化ものづくり」シンポジウム
## ～接合プロセスを例として～

科学技術創造立国を標榜する我が国の、とりわけ自動車や航空機産業を筆頭とする各種産業群が集積する愛知県、中部圏において、近未来に向けて確実に進行する労働人口の減少に配慮しつつ、新興諸国の追随を許すことなく、これまでに培った「ものづくり」技術を発展させ、さらなる差別化を堅持するには、従来に無い革新的なものづくりの概念が必要と考えます。この難問に応えるために本シンポジウムでは、従来、個別に取り組まれてきた「可視化：科学」及び「ものづくり：技術」を科学技術として成立させる「可視化ものづくり」概念の必然性、有効性について各界有識者を交えながら検証します。また、当該概念の具現化に向けて、必須要素技術間および産官学の連携を基とする「可視化ものづくり拠点」構築を提案します。

日時：平成27年3月16日(月)　12:45～17:40
場所：ホテルアソシア豊橋　５階 ボールルーム
〒440-0075 愛知県豊橋市花田町西宿(JR豊橋駅直結), TEL：0532-57-1010(代表), http://www.associa.com/tyh/
主催：豊橋技術科学大学（機械工学系、人間・ロボット共生リサーチセンター、次世代シミュレーション技術者教育推進室）
協賛(予定)：中部経済産業局、愛知県、日本機械学会東海支部、日本金属学会・日本鉄鋼協会東海支部、溶接学会東海支部、日本溶射学会、塑性加工学会東海支部、鋳造工学会東海支部、可視化情報学会、自動車技術会中部支部、航空宇宙学会中部支部、豊橋信用金庫組合、東三河懇話会、精密工学会東海支部、計測自動制御学会中部支部

プログラム(すべて敬称略)
11:45～12:45　受け付け　＆　会場後方にて展示会
12:45～12:46　開会挨拶　(司会 豊橋技術科学大学/安井利明)
12:47～12:54　主催者挨拶　(豊橋技術科学大学/大貝　彰)
12:55～13:03　来賓挨拶　(中部経済産業局産業技術課/岡本正弘)
13:04～13:14　シンポジウム趣旨説明　(豊橋技術科学大学/福本昌宏)

＜産業界における課題の所在＞
13:15～13:50　愛知県におけるものづくり関連政策の課題と展望（愛知県産業労働部/加納廣和)
13:50～14:25　ものづくりにおける課題と産学官連携への要望　(依頼中)

＜接合関連可視化研究の粋＞
14:25～15:10　各種接合現象の実験的可視化　(大阪大学接合科学研究所/片山聖二)
15:10～15:55　材料界面構造の数値解析的可視化　(産総研関西/香山正憲)

15:55～16:25　休憩　＆　会場後方にて展示会

＜産官学連携「可視化ものづくり拠点」構築の提案＞
16:25～16:40　産官学連携「可視化ものづくり拠点」の提案(豊橋技術科学大学/福本昌宏)

＜パネルディスカッション：可視化ものづくり拠点構築に向けて＞
16:40～17:35
司会：
豊橋技術科学大学　福本昌宏
パネラー：
中部経済産業局産業技術課課長　岡本正弘
愛知県産業労働部技監　加納廣和
大阪大学接合科学研究所長教授　片山聖二
産業技術総合研究所ユビキタスエネルギー研究部門首席研究員　香山正憲
豊橋技術科学大学学長特別補佐　原　邦彦

17:40　閉会挨拶

# 第１回「可視化ものづくり」シンポジウム　参加申込フォーム

参加ご希望の方は以下の必要事項をご記入の上、

２月２８日（土）までに電子メールまたはＦＡＸにて下記宛てにご連絡ください。

## 申　込　み　先

➢ **ＦＡＸでのお申込み：０５３２−４４−６６９０**

（豊橋技術科学大学機械工学系事務室気付　界面・表面創製研究室　加藤宛て）

＜必要事項＞

| |
|---|
| ●お名前（ご参加いただける方全員のお名前をご記入ください。）<br>ふりがな |
| ●ご所属 |
| ●お電話番号 |
| ●E-mail アドレス |

➢ **電子メールでのお申し込み**

上記内容をご記入の上
isf-secretary@me.tut.ac.jp　加藤宛て

＜申し込みについて＞

・定員 100 名（先着順）とさせて頂きます。

・参加費は無料です。

・当日、会場での参加申込みも可能ですが、席に余裕の無い場合にはご容赦ください。

＜お問い合わせ先＞

豊橋技術科学大学機械工学系　界面・表面創製研究室　加藤（TEL:0532-44-6692）

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

## 社会人キャリアアップ連携協議会　設立記念シンポジウム
## 「ひとを育み、まちを創る
## “産金学官”４本の矢による東三河の成長戦略」開催

昨年 10 月 30 日に豊橋技術科学大学 社会連携推進本部と（株）サイエンス・クリエイトの呼びかけで、東三河総局をはじめとする多くの行政組織、東三河広域経済連合会を中心とした産業界、この地域の４大学（豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、愛知工科大学）の協力を得、「人材育成」を通して地域の活性化に貢献することを目指して「社会人キャリアアップ連携協議会」を設立致しました。（会長　榊 佳之　：　豊橋技術科学大学前学長）

協議会設立を記念して、人材育成を首題として「設立シンポジウム」を開催します。

**日　時　：平成２７年　３月１８日（水）１４：３０～１７：００**
**会　場　：ロワジールホテル豊橋**
**参加費　：無料（定員１５０名）**
**主　催　：社会人キャリアアップ連携協議会**

**＊開催主旨については榊会長のご挨拶文を、プログラム、申込み方法等詳細はチラシをご覧下さい。**

本件に関する連絡先
担当　　：総務課地域連携係　上田・三田　TEL:0532-44-6569
広報担当：総務課広報係　　高柳・梅籐　TEL:0532-44-6506

シンポジウム開催のご案内

社会人キャリアアップ連携協議会
会長　榊佳之

関係各位

少子高齢化の進む中で地方の活性化は喫緊の課題であり、ここ東三河でも愛知県東三河総局、各自治体とその広域連合、各商工会議所等とその広域経済連合会などを通して様々な取り組みが行われております。私ども「社会人キャリアアップ連携協議会」はその一環として「人材育成」を通して地域の活性化に貢献することを目指しています。

既に東三河総局をはじめとする多くの行政組織、広域経済連合会を中心とした産業界、この地域の４大学などのご協力を得て、昨年 10 月 30 日に設立総会を開催し、活動を始めましたが、この度、その設立を記念して、またその活動や趣旨をより多くの方々に知っていただきたく、別紙のとおり「設立記念シンポジウム」を来る３月 18 日に開催することといたしました。

基調講演には電気通信大学の前学長、梶谷誠先生をお招きしております。梶谷先生は地域活性化のために「コラボ産学官」を設立され、信用金庫のバックアップのもと全国規模での産学官連携による地域活性化に取り組まれ、いくつも成功を収めておられます。今回はその特色ある活動のご経験を伺い、それを基にこの地域の活性化、成長戦略の在り方について共に考えたいと思います。

つきましては、この地域を支える産業界、大学、自治体の方々をはじめ多くの関係者の方々にご参加いただきたくご案内いたします。ご多忙な時期とは存じますが、私共の活動にご理解、ご賛同いただければ幸いです。

---

**社会人キャリアアップ連携協議会ホームページ**
http://www.careerup.sharen.tut.ac.jp/index.html
**株式会社サイエンス・クリエイト内**
**〒441-8113　愛知県豊橋市西幸町字浜池 333-9**
TEL:0532-44-1111(代表) FAX:0532-44-1122　　e-mail:careerup@tsc.co.jp

現在の参加機関（愛知県東三河総局、豊橋市、豊川市、田原市、東三河広域経済連合会、(株) ｻｲｴﾝｽ･ｸﾘｴｲﾄ、豊橋技術科学大学、愛知大学、豊橋創造大学、愛知工科大学）

設立記念シンポジウム

社会人キャリアアップ連携協議会

# ひとを育み、まちを創る

## “産金学官”4本の矢による東三河の成長戦略

**日時** 3月18日(水) 14:30-17:00 (交流会17:30-19:00)

**会場** ロワジールホテル豊橋

基調講演者

### 梶谷 誠

電気通信大学前学長
一般社団法人　コラボ産学官顧問

1971年　東京工業大学大学院修了(工学博士)
1971年 から電気通信大学講師、助教授、教授を経て
1999年　共同研究センター長に就任
2000年　電気通信大学長に就任
2004年　信州大学監事(電気通信大学長退任)
2004年　電気通信大学名誉教授
2004年　コラボ産学官設立し、初代理事長
2008年　電気通信大学長に再就任
2010年　スーパー連携大学院 コンソーシアム設立し会長
2014年　学長退任、学長顧問

## プログラム

- 開会宣言
- 14:30-14:40 挨拶　社会人キャリアアップ連携協議会 会長 榊　佳之
- 14:40-14:50 祝辞　愛知県副知事 中西　肇
  (代読) 東三河総局 総局長 加藤 正人
- 祝辞　豊橋市長 佐原 光一
  (代読) 豊橋市産業部長 瀧川 雅弘
- 14:50-15:50 基調講演
  連携こそ人材育成の要諦～産金学官連携による試み～
  電気通信大学前学長 一般社団法人コラボ産学官顧問 梶谷　誠
- 15:50-16:00 休憩
- 16:00-17:00 パネルディスカッション
  〈産金学官が連携した人材育成と成長戦略〉
  ▶コーディネーター　社会人キャリアアップ連携協議会 会長 榊　佳之
  ▶パネリスト
  コラボ産学官顧問 梶谷　誠
  豊橋信用金庫 理事・事業支援部長 渡邊 寛司
  豊橋技術科学大学 理事・副学長 大貝　彰
  東三河広域経済連合会(産業と地域を支える人材育成プロジェクト委員会)委員長(豊川商工会議所副会頭) 小野 喜明
  豊橋市 産業部長 瀧川 雅弘
  株式会社サイエンス・クリエイト 代表取締役専務 原田 公孝
- 17:00 閉会の挨拶　社会人キャリアアップ連携協議会 副会長 愛知県東三河総局　企画調整部長 青木 幹晴
- 17:30-19:00 交流会　会場「桃の間」

参加費 無料 (申込制)

交流会 会費有 (申込制)

**●申込方法**

平成27年3月16日(月)までに申込書にご記入の上、E-mailまたは、Faxで事務局へお申し込みください。
お申込書はHPからダウンロードできます。事前にお申込の上ご参加願います。


**申込み・問合せ先**

社会人キャリアアップ連携協議会
㈱サイエンス・クリエイト内
社会人キャリアアップ連携協議会 事務局　担当:森高
〒441-8113 豊橋市西幸町字浜池333-9
TEL:0532 (44) 1111　FAX:0532 (44) 1122
E-Mail:symposium2015@tsc.co.jp
http://www.careerup.sharen.tut.ac.jp


[主　催] 社会人キャリアアップ連携協議会
[構成団体] 株式会社サイエンス・クリエイト　愛知県東三河総局
東三河広域経済連合会　豊橋市　豊川市　田原市
豊橋技術科学大学　愛知大学　豊橋創造大学　愛知工科大学

# ひとを育み、まちを創る

## “産金学官”4本の矢による東三河の成長戦略

## お申し込み用紙

社会人キャリアアップ連携協議会事務局
((株)サイエンス・クリエイト内)

FAX 0532-44-1122

**必要事項をご記入のうえご送信ください。**
なお、会場に余裕があれば当日参加も可能ですが、できる限り事前にお申し込みください。

**申込締切：3月16日**

| | | |
|---|---|---|
| ●お名前<br>ふりがな | ●勤務先・役職 | 交流会<br>(参加費 4,000円)<br>参加 ・ 不参加<br>(どちらかを○で囲んでください) |
| ●TEL・FAX | ●E-mail 協議会から情報発信をさせていただきます。不要な方は、チェックを入れてください。□ | |

| | | |
|---|---|---|
| ●お名前<br>ふりがな | ●勤務先・役職 | 交流会<br>(参加費 4,000円)<br>参加 ・ 不参加<br>(どちらかを○で囲んでください) |
| ●TEL・FAX | ●E-mail 協議会から情報発信をさせていただきます。不要な方は、チェックを入れてください。□ | |

| | | |
|---|---|---|
| ●お名前<br>ふりがな | ●勤務先・役職 | 交流会<br>(参加費 4,000円)<br>参加 ・ 不参加<br>(どちらかを○で囲んでください) |
| ●TEL・FAX | ●E-mail 協議会から情報発信をさせていただきます。不要な方は、チェックを入れてください。□ | |

**E-mail でのお申し込み**
上記内容をご記入のうえ
symposium2015@tsc.co.jp まで

### お申し込みについて

- お申し込み後、お申し込み内容に変更があった際はご連絡ください。
- お申し込みいただいた方に対し、**当協議会より受理の通知はいたしませんので、当日会場へ直接お越しください。**
- 電話によるお申し込みは受付しておりません。FAXまたはE-mailにてお願いいたします。

**〈個人情報について〉**
ご記入いただいた情報は、シンポジウムの運営以外の目的には利用しません。
お知らせいただいた情報を適切に管理し、お申込者様の承認なく第三者に提供又は利用することはありません。

**■お問い合わせ電話番号：0532-44-1111　(株)サイエンス・クリエイト内**

**日時 3月18日(水)**
シンポジウム 14時30分～17時00分
(受付14時00分～)
交　流　会 17時30分～19時00分

**会場 ロワジールホテル豊橋**
http://www.loisir-toyohashi.com/
通常のシャトルバスの他、当日は13時30分より豊橋駅西口発ホテル行き便を随時ご準備いたしますので、ご利用ください。
お帰りのシャトルバス便も増便いたします。
無料駐車場のご案内：ホテル駐車場だけでなく、ホリディ・スクエア駐車場、イトーヨーカドー駐車場も無料でご利用いただけます。

# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

平成２７年２月１２日

**豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム**

## 低炭素社会における産業育成および<br>安全・安心なビークルシティ　開催

未来ビークルシティリサーチセンターでは、平成 22 年度から『サスティナブルな社会における未来ビークルシティー事業』において、$CO_2$を低減する「低炭素社会」と少子高齢化に伴う「安全・安心社会」を重点課題としてとらえ、「持続的に発展可能な社会」にふさわしいビークルシティの構築を目指した調査研究活動を実施してきました。

本シンポジウムでは、本事業５年間の活動を報告するとともに、この分野の第一線で活躍されている方々にご講演いただき、パネルディスカッションを通じて今後の展望にも触れていただきます。

【日程・会場】
開催日　　：平成２７年３月１０日（火）
会場　　：豊橋商工会議所９F 大ホール
意見交換会　：豊橋商工会議所 地下１階 レストラン
【参加費】
研究成果報告／パネルディスカッション　：無料
意見交換会　：3,000 円
※プログラム等の詳細はチラシをご覧ください。

本件に関する連絡先
担当：研究支援課研究センター係　柴田　TEL:0532-44-6574
広報担当：総務課広報係　高柳・梅藤　TEL:0532-44-6506

豊橋技術科学大学
未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム

**参加費無料**

# 低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ

**日時** 平成27年3月10日(火) 13:00~17:00

**会場** 豊橋商工会議所 9F 大ホール

未来ビークルシティリサーチセンターでは、平成22年度から『サスティナブルな社会における未来ビークルシティー事業』において、$CO_2$を低減する「低炭素社会」と少子高齢化に伴う「安全・安心社会」を重点課題としてとらえ、「持続的に発展可能な社会」にふさわしいビークルシティの構築を目指した調査研究活動を実施してきました。

本シンポジウムでは本事業5年間の活動を報告するとともに、この分野の第一線で活躍されている方々にご講演いただき、パネルディスカッションを通じて今後の展望にも触れていただきます。

## 第1部 ― 研究成果報告 ―

大平　孝（電気・電子情報工学系　教授）
章　　忠（機械工学系　教授）
金澤　靖（情報・知能工学系　准教授）
宮田　譲（建築・都市システム学系　教授）
滝川浩史（電気・電子情報工学系　教授）

## 第2部 ― パネルディスカッション ―

### 低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ

パネラー

豊橋市環境部温暖化対策推進室長 黒柳　哲禎 氏
国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長 鈴木　信昭 氏
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長 林　良嗣 氏
経済産業省中部経済産業局産業部自動車関連産業室長 柳原　和男 氏
株式会社デンソー ディーゼルシステム技術部担当部長 小久保直樹 氏

モデレーター

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター長 角田　範義

文部科学省特別経費

サスティナブルな社会における
未来ビークルシティー事業

低炭素社会おける
安全・安心なビークルシティー

**意見交換会**　会費：3,000円

シンポジウム終了後、
豊橋商工会議所 地下1階において
『意見交換会』を行います。

主催／豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター
後援／経済産業省中部経済産業局、国土交通省中部地方整備局、豊橋市、田原市、
豊橋商工会議所、田原市商工会、田原臨海企業懇話会、三河港振興会

お問合せ
豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター（研究支援課研究センター係）
■TEL：0532-44-6574　■E-mail：rcfvc@office.tut.ac.jp

国立大学法人
豊橋技術科学大学

## プログラム

司会：電気・電子情報工学系　教授　櫻井 庸司

13:00－13:10　**挨 拶**　大西 隆（豊橋技術科学大学長）

13:10－14:10　**第1部　― 研究成果報告 ―**

○バッテリレス電動カートの走行実験　大平　孝
○ドライバ個性に着目した社会共生型安全運転支援に関する研究　章　忠
○交通弱者の安全・安心のためのシステムの開発　金澤　靖
○豊橋市における電気自動車導入の環境・経済的影響評価　宮田　譲
○未来ビークルライフに向けたエネルギーの創生と利用　滝川　浩史

14:10－14:25　**休 憩**

14:25－16:45　**第2部　― パネルディスカッション ―**

**低炭素社会における産業育成および安全・安心なビークルシティ**

14:25－15:50　**■ 話題提供**

○豊橋市における地球温暖化防止の取り組みについて
豊橋市環境部温暖化対策推進室長　黒柳　哲禎 氏
○三河港における自動車産業の利用状況と港湾整備について
国土交通省中部地方整備局三河港湾事務所長　鈴木　信昭 氏
○交通と低炭素社会における取り組みについて
名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター長　林　良嗣 氏
○自動車産業の最近の動向と中部地域の取組について
経済産業省中部経済産業局産業部自動車関連産業室長　柳原　和男 氏
○クリーンディーゼルエンジンを支える技術取り組み
株式会社デンソー ディーゼルシステム技術部担当部長　小久保直樹 氏

15:50－16:00　**休 憩**

16:00－16:45　**■ 討 論**　パネラー：黒柳 哲禎、鈴木 信昭、林 良嗣、柳原 和男、小久保 直樹
モデレーター：角田 範義（未来ビークルシティリサーチセンター長）

16:45－17:00　**質疑応答**（1部、2部通して）

17:00－17:05　**閉会挨拶**　角田 範義（未来ビークルシティリサーチセンター長）

## 参加申込書

以下の内容をFAXまたはE-mailでご連絡ください。

【申込先】未来ビークルシティリサーチセンター（研究支援課研究センター係）

**FAX：0532-44-6568　E-mail：rcfvc@office.tut.ac.jp**

| | | | |
|---|---|---|---|
| お名前 | | | |
| 会社名等<br>所属 | | 部署・役職 | |
| TEL | | FAX | |
| 意見交換会<br>（会費3,000円） | 参加　・　不参加　（どちらかを○で囲んでください） | | |

**参加申込〆切：平成27年3月6日（金）**　ただし、事前申込みがなくてもご参加いただけます。

※ご記入いただいた情報は、豊橋技術科学大学からの各種連絡・情報提供のため利用することがあります。

# 平成２６年度　定例記者会見日程予定

第１回　平成２６年　４月１６日（水）１１：００～

第２回　平成２６年　５月２８日（水）１１：００～

第３回　平成２６年　６月１１日（水）１１：００～

第４回　平成２６年　７月３０日（水）１１：００～

第５回　平成２６年　９月２４日（水）１１：００～

第６回　平成２６年１０月１５日（水）１１：００～

第７回　平成２６年１１月１９日（水）１１：００～

第８回　平成２７年　１月２１日（水）１１：００～

第９回　平成２７年　２月１８日（水）１１：００～
※開催場所が本学福利施設　ひばりラウンジとなります。

第10回　平成２７年　３月１１日（水）１１：００～

場所はすべて本学大会議室（事務局３階）を予定しています。場所、日程は現時点での予定であり、都合によって変更の場合があります。定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以上